

このような方々に最適です！

熱いインド市場を自分の目で見てみたい方
ビジネスの可能性を広げたい方・探りたい方
レジャーでなく、ビジネスの視点でインドを見たい方

インド視察研修

研修日：2014年 2月 17日(月) ~ 20日(木)

研修地：デリー市内およびその近郊

4日間

小売市場を見る

伝統的なマーケットから近代的なホームセンターやショッピングモールまで、様々なタイプの小売店を視察します。それぞれの品揃え・価格・商品デザイン・買い物客の様子・接客の様子を把握できます。

【視察先】

庶民派マーケット、富裕層向けマーケット、日系食材小売店、民芸品マーケット、革製品と宝石の卸売マーケット、ホームセンター、高級モール



自社と同業界のインド企業と交流する

貴社と同業界のインド企業と懇談できるよう、企業訪問や会食の場をセッティングします。インド市場への参入を検討するうえで、インド企業から業界の生の情報を直接得られる絶好の機会となります。



インドで働く日本人に話を聞く

インドで起業する前・した後の苦労、インドが渴望する日本の製品やサービス、インドに拠点を持つ日系企業の現況など、現地の日本人から最新情報を入手でき、インドビジネスの可能性や留意点が明確になります。

【訪問先】

デリー所在の日本の公的機関（日本商工会、日本大使館、JETRO等）を訪問の予定。日本人経営者とは会食の予定。



レンタルオフィスを見る

入居後に自ら調度品等を整備するオフィスから、入居日からすぐ業務を開始できるオフィスまで、様々なタイプがあります。これらのうち2例を実際に見ることにより、インドのオフィス物件の様子を把握できます。

【視察先】

2種のレンタルオフィス



道路渋滞等の事情により、視察地が変更となる場合があります。

研修費用

195,000円(税込)

*上記金額には研修の企画運営、行程内の通訳、研修時レンタカー費用、食費を含みます。
*ビザ申請代、宿泊代、航空券代は含まれません。

申込み
締切日

2014年1月17日(金)

最少敢行人数：5名

お申し込みはこちらへ：

Tel 03-5312-6136

E-mail shingaitmm@gmail.com

日印ビジネス支援協会株式会社 〒160-0004 東京都新宿区四谷 1-1-2 四谷見附ビルディング 2F 【www.bjsi.com】



私がお案内します！

インドビジネスコンサルタント
平野 隆之

日印ビジネス支援協会株式会社 代表の平野隆之です。

約5年間のインド駐在の間、100社以上の民間企業や公社を訪問し、インド系と日系両方の工場を視察しました。また、日本の製品や技術に対するインド政府からのニーズを日本側に伝え、国家間での調達の橋渡しをすることも任務のひとつとして行ってきました。

視察にあたっては、それぞれの場でポイントを解説します。視察中は色々な疑問が浮かぶと思います。インドの経済、商習慣、政治、軍事、宗教、庶民の生活、貧富のことなど、知りたいことはその場でどんどん質問してください。

5年後の御社のために、今のインドをご自身の目で見て肌で感じていただきたいと思います。

ぜひ一緒にさせてください。

【経歴】元防衛省勤務・元在インド日本大使館参事官兼防衛駐在官

【セミナー実績】巣鴨信用金庫主催「元駐在武官が教えるインドの魅力」ほか年間約20回

よくいただくご質問

Q. ビザ（査証）の取得方法が分かりません。

A. 関東にお住まいの方は、茗荷谷のインドビザ申請センターでの申請になります。オンライン申請し、出力した申請書を申請センターの窓口へ提出します。詳細は弊社サイトのビザ申請要領をご覧ください（www.bjbsi.com）。お申込み手続きを完了された方にはお電話にてアドバイスいたしますのでご安心ください。また、ビザ申請代行をご希望の方は弊社にて承ります（代料：10,000円税込）。



Q. 航空便は何がおすすめですか？

A. インドへの渡航が初めての場合は、成田空港発で片道約9時間の直行便（Air India、JAL、ANA）をお勧めします。ご希望の場合は、弊社が取引きのある旅行代理店を紹介いたします。



Q. ホテルはどこで手配したらよいですか？

A. 旅行代理店やホテル予約サイトにてご手配ください。ご希望の場合は同行者が宿泊する予定のホテル（4スタークラスで1泊8千円程度）をご紹介します。



Q. 持ち物の準備が心配です。また2月のデリーはどんな気候ですか？

A. ご参加者には出発前に「持ち物チェックリスト」をお渡しします。電話やメールでのご質問にもお答えします。2月の気温は日中25℃前後で、湿気が無くカラっとしています。

Q. お腹を壊さないかが心配です。食事はどんなところで取るのですか？

A. 衛生面を重視してレストランを選択しています。また、レストランでの飲食も市場調査の一環となるよう考慮し、富裕層インド人が利用する会員制クラブ、日本人が経営する和食料理店、現地の若者に人気のインド料理店など、様々なタイプのレストランにて食事します。また、現地にいる方々の話を聞く機会となるよう、できるだけ多く食事会を計画しています。



Q. 研修初日（2月17日）の集合場所はどこですか？

A. 弊社が指定させて頂くデリー市内のホテルのロビーにて集合となります。前日（当日未明着を含む）にデリーに到着される場合、弊社の者がインディラガンディー国際空港へお迎えに上がりますので、空港からホテルまでの移動は安心です。



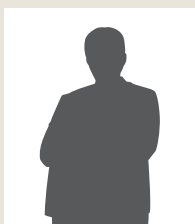
お申し込みはこちらへ：

Tel 03-5312-6136

E-mail shingaitmm@gmail.com

日印ビジネス支援協会株式会社 〒160-0004 東京都新宿区四谷 1-1-2 四谷見附ビルディング 2F 【www.bjbsi.com】

前回までの視察研修に参加された方々より、以下のようなご感想を頂きました。



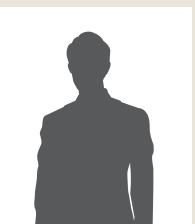
商社
B 様

知り合いの経営者にさそわれて参加しました。視察に行く前は、「自社がインドとビジネス？できるのかな、本当に…」というのが正直な気持ちでした。実際に現地を訪れると、インドの活気をありありと感じました。そんな雰囲気の中、視察地でインド人や日本人駐在者のリアルな話を生で聞いたことにより、いろいろなアイデアが生まれてきました。帰国後の現在は、現地で生んだアイデアを商品化するところまでこぎつけました。現地の業法など、調査をしてクリアしなければならない課題は複数ありますが、この目で見えて感じ取ったあのインド経済の熱気を思い出しながら、ビジネスの成功に向けてひた走っています。あの時視察に参加していなければ、インドを事業として検討すべきかどうかさえ、いまだに分らないままだったと思います。「分からないから何もしない。」というのは非常にもったいない。まずは自身の目でインドを見てみることを、経営者仲間にも勧めています。アイデアが次々に湧いてくるあの感覚を、体験してほしいと思います。



シェフ
小暮 剛様

この度のインド視察研修を経験したことにより、これまでに比べてインドが身近に感じられるようになりました。料理人として「食を通して日本とインドの橋渡しをする」という目標も明確になってきました。この目標を達成するため現地で人脈作りをさせて頂けたことは、今回の視察研修で一番の収穫でした。まずは、今回ご縁を頂いた現地の皆様との絆を強め、一步ずつ形にしていきたいと思っています。



メーカー
T 様

今回は、いろいろお世話になり、誠にありがとうございました。初めてのインドで全日フルに活用させて頂くことができたのは、本当に役に立つこの視察研修ならではの実感しております。同業種のインド企業の方と直接お会いしてインドの最新の業界情報を聞くことができ、当社もインドビジネスに取り組むことができるのではないかと手応えを感じました。今後、いくつかの案件を進行できるように取り組んでいきたいと思っています。引き続き宜しくお願い申し上げます。

知っている方々は、もう動いています。

通称C E P A (セパ) と呼ばれる二国間協定「日印包括的経済連携協定」により、2021年までに日本・インド間の輸出入品目の約90%が「基本関税ゼロ」になります。

これをビジネスチャンスに結び付けることができるかどうかを見極めるため、C E P Aを知っている中小企業は、現地視察やインド法制度の調査を着々と進めています。

インドの生の情報を得るために、この視察をご活用ください。

お申し込みはこちらへ

Tel 03-5312-6136

E-mail shingaitmm@gmail.com

日印ビジネス支援協会株式会社

〒160-0004 東京都新宿区四谷 1-1-2 四谷見附ビルディング 2F

お問い合わせも
お気軽にどうぞ